

平成28年度 杉並区事務事業評価表 (1)

(00648)

事務事業名称			ゆうゆう阿佐谷館の改修			款 04	項 01	目 07	事業 027	整理番号	
現担当課名			高齢者施策課			係名 施設担当			連絡先 電話番号 1153	昨年度 整理番号 243	
上位施策No・施策名								13 高齢者の社会参加の支援		予算事業区分	投資事業
事務事業の概要	事業開始		平成26年度								
	平成27年度 担当課名		高齢者施策課						事業評価区分 一般		
	対象			○60歳以上の区民、高齢者団体、協働事業参加者		根拠 法令 等 (1)		杉並区立高齢者活動支援センター及びゆうゆう館条例			
						(2)		老人福祉法			
	事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)			○ゆうゆう阿佐谷館を、平成27年4月に旧阿佐谷区民事務所の建物に移転させるため、改修工事を行う。 ○移転に伴う初度物品の購入や引越作業を行う。		活動指標 指標名 (1)		改修工事の進行状況			
					指標説明						
					指標名 (2)						
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段)			○平成26年12月から基本設計・実施設計を行う。 ○平成27年1月～3月まで改修工事を行う。 ○平成27年4月から移転・開館する。 ○地域住民及びゆうゆう阿佐谷館利用者に対する説明を行う。		指標説明						
					成果指標 指標名 (1)						
					指標説明						
					指標名 (2)						
					指標説明						
区分	単位	平成25年度 実績	平成26年度		平成27年度		平成28年度 計画	平成27年度 対計画比 (%)			
			計画	実績	計画 (目標値)	実績					
指標	活動指標 (1)	1	%	100	100	0	0	0	0.0		
	活動指標 (2)	2									
	成果指標 (1)	3									
	成果指標 (2)	4									
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	48,449	48,435	0	0	0	平成27年度 予算執行率 (%) 特記事項		
	(内) 投資的経費等	6	千円	0	0	0	0	0			
	(内) 委託費	7	千円	45,769	45,757	0	0	0			
	職員数	常勤職員数	8	人	0.14	0.24	0.00	0.00	0.00		
		再任用職員数	9	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
		非常勤職員数	10	人	0.00	0.10	0.00	0.00	0.00		
	人件費	常勤職員分	11	千円	1,233	2,114	0	0	0		
		再任用職員分	12	千円	0	0	0	0	0		
		非常勤職員分	13	千円	0	283	0	0	0		
	総事業費 (5+11+12+13)	14	千円	49,682	50,832	0	0	0			
	単位当たりコスト (14-6)÷1)	15	円	496,820	508,320	0	0	0			
	財源	受益者負担分	16	千円	0	0	0	0	0		
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0		
		都からの補助金等	18	千円	0	0	0	0	0		
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0			
特定財源計 (16+17+18+19)		20	千円	0	0	0	0	0			
差引：一般財源 (14-20)		21	千円	49,682	50,832	0	0	0			
受益者負担比率 (16÷14)	22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				

平成28年度 杉並区事務事業評価表（2）

整理番号

平成27年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
		改修工事			0
		物品購入費			0
		設計費			0
		その他（建設事務費）			0
		(2) 事業実績			

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	<p>区立施設再編整備計画での産業商工会館の改修計画に合わせて、移転することとなったゆうゆう阿佐谷館について、地域住民や利用者を対象とした移転に関する説明会を開催しました。説明会では、移転後のゆうゆう阿佐谷館の施設概要、利用方法などについて説明を行いました。 平成27年1月から旧阿佐谷区民事務所の改修工事を行い、4月に移転・開館を行いました。</p>			
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	<p>阿佐谷南から阿佐ヶ谷駅の北側へ移転することに対して、利用しづらくなるなどの意見が寄せられました。 阿佐谷会議室を利用していた方から高齢者団体の優先利用で部屋の予約が取れなくなるのではないかなど不安の意見が寄せられました。</p>			
	今後の予測				
評価と課題					
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I. 事業コストの方向性			
		II. 事業の改善の方向性			
今後の進め方					

平成28年度 杉並区事務事業評価表（2）

整理番号 146

平成27年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
		ふれあい入浴	1,195	回	38,718
		まちの湯健康事業	274	回	6,850
		その他（チラシ作成費ほか）			50
(2) 事業実績	<p>ふれあい入浴：平成27年度は23か所の浴場で実施して、利用者数は延べ77,008人でした。平成26年度より1か所実施浴場数が減少したため、利用者数も1,620人減少しましたが、1回当たりの利用者数は、ほぼ同じです。</p> <p>まちの湯健康事業：平成27年度は16か所の各浴場で毎月1～2回実施しました。平成26年度より実施浴場数は1か所減少しました。1回当たりの参加人数は同じでした。</p>				

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	区内の公衆浴場数は、昭和49年度111か所→平成23年度30か所→平成27年度23か所と減少しています。		
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	<p>ふれあい入浴・・・「自宅にお風呂があっても、広いお風呂は気持ちがいいので利用している。」「通院日と重なり、指定の曜日・時間帯に行くことができない。」「一人暮らしの高齢者同士が銭湯で、互いに健康の確認をしあい、世間話をするのが楽しみになっている。」といった声が寄せられています。</p> <p>まちの湯健康事業・・・「とても良いので回数を増やしてほしい。」「参加者が増え、体操に必要なスペースを脱衣所では確保しにくい。」といった声が寄せられています。</p>		
	今後の予測	区内の公衆浴場数は減少しています。ふれあい入浴・まちの湯健康事業とも、1回当たりの利用者数は増加の傾向にあり、今後も増加していくと予測されます。自宅にお風呂があっても公衆浴場の利用希望はあると考えられます。		
評価と課題	<p>公衆浴場数の減少とともに、ふれあい入浴の利用者が、1か所に集中する傾向にあり、安全な事業運営が必要です。</p> <p>まちの湯健康事業は長寿応援ポイントの対象でもあり、健康事業（体操等）を行うに当たり、会場の安全上、予約制を取り入れるなどの対応を行います。</p>			
中長期な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I. 事業コストの方向性	現状維持	
		II. 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）	
	今後の進め方	区内の浴場数は減少し、1か所当たりの利用者数が増加すると、安全な事業運営が困難になることが予想されます。安全かつ円滑な事業運営ができるよう、浴場組合との意見交換等、各浴場の実態を把握しながら検討・改善を進めていきます。		

平成28年度 杉並区事務事業評価表（2）

整理番号 147

平成27年度の事業実施状況	内容	規模	単位	事業費（千円）	
		風呂っと杉並 事業運営費助成	9	所	3,478
		(1) 主な取組			
		その他（ ）			
(2) 事業実績	平成27年度は9浴場で風呂っと杉並事業を実施し、全回数は360回でした。各浴場で毎月平均3～4回の利用があり、内容は落語・健康体操・手芸など様々です。				

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	区内の公衆浴場数：昭和49年度111か所→平成24年度28か所→平成27年度23か所 事業を実施浴場数：平成13年度9か所→平成24年度9か所→平成27年度9か所	
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	「近所なので集まりやすく、気軽に利用できるのがいい。」など評価を頂いています。	
	今後の予測	区内の公衆浴場数の減少に伴い、実施浴場数も減少する可能性があります。一方、高齢者人口は増加しているため、活動場所を探している区民は潜在的に存在すると考えられます。効果的なPRで利用者は増加すると予測します。	
評価と課題	利用団体が固定化し、新規の利用者がなかなか得られない実情があるため、適正な事業規模等の検討を行います。		
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I. 事業コストの方向性	現状維持
		II. 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）
	今後の進め方	実施浴場数の増加のための対策や地域の活動拠点として活用されるよう、認知度を上げるPR方法などを、浴場組合と協議していきます。	

平成28年度 杉並区事務事業評価表（2）

整理番号 148

平成27年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
		いきいきクラブ助成金（いきいきクラブ連合会・各いきいきクラブ）	68	団体	23,049
		福祉大会・都市交流等事業	1	団体	500
		その他（旅費の支給、連絡用郵券ほか）			61

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	<p>昭和33年→3クラブで開始。平成5年に会員数のピーク（12,071人）、平成10年にクラブ数のピーク（100クラブ）となりました。</p> <p>平成21年→81クラブ、会員数6,778人（60歳以上人口134,259人、クラブ加入率5.0%）※国及び都の要綱改正に伴い、1クラブあたりの会員数を「50人以上」から「30人以上」に改正</p> <p>平成26年→70クラブ、会員数5,612人（同142,392人、同3.9%）平成27年→68クラブ、会員数5,557人（同143,425人、同3.9%）</p> <p>高齢者人口は年々増加していますが、クラブ数及び会員数、60歳以上人口に占める加入率は年々減少しています。</p>
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	<p>会員から、「高齢者の生きがい活動の場として、いきいきクラブで楽しく活動しています。」「引きこもりの防止となるよう活動を工夫しています。」「また、「会員の高齢化と、若い世代の高齢者が入会しないなどの事情で、クラブ役員を担う後継者がいません。」「という感想や意見があります。</p> <p>一般の方から、「自分の趣味に合うサークル活動をさがしている。」「近所で活動しているサークルの情報を知りたい」などの問い合わせを受け、いきいきクラブを紹介しています。</p>
	今後の予測	<p>平成27年度当初は68クラブになりましたが、年度末には1クラブの廃止がありました。平成28年4月現在、67クラブとなり、会員の平均年齢は79.5歳です。現状では団塊世代の高齢者の加入は少なく、会員数は今後も減少し高齢化することが予測されます。</p>

評価と課題	<p>クラブ数、会員数の減少は進んでいますが、活発に活動を継続しているクラブもあります。健康増進活動、生きがいを高める活動は実績が伸びています。いきいきクラブの活動は、高齢者の社会参加に一定の成果をあげていますが、全国的に老人クラブの加入者は減少傾向にあり、杉並区もクラブ数、会員数ともに、年々減少しています。高齢化率は、上昇傾向にある中で、いきいきクラブの活性化は、高齢者同士の支えあい、地域社会とのつながりにより、介護予防的効果が期待できます。既存のクラブばかりでなく、新規クラブの立ち上げや各クラブは新たな会員の獲得を目指し、ますます活発に活動できるよう、会員活動はもちろんのこと、会員以外でも気軽に参加できる行事を企画し、活動していけるよう支援していきます。</p>
-------	---

中長期な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I. 事業コストの方向性	現状維持
		II. 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）
	今後の進め方	<p>いきいきクラブ連合会及びいきいきクラブは、地域の高齢者に入会の呼びかけを行い、加入促進に努めていますが、興味を持ってもらえても、入会に結びつかないのが現状です。いきいきクラブとは、どんな事業なのか、どのようにクラブ会員がいきいきクラブの活動で充実した時間を過ごしているのかを知ってもらえる機会をさらに増やし、地区の町会との連携、いきいきクラブのPRや広報活動の支援をし、新規クラブの立ち上げの支援も積極的に行なっていきます。既存のクラブの活動が継続していけるよう、会計処理の適切な指導や助言を行い、円滑に申請や報告等ができるよう、支援していきます。</p>	

平成28年度 杉並区事務事業評価表（2）

整理番号 149

平成27年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
		シルバー人材センター運営助成			168,092
		シルバー人材センター運用資金貸付			5,000
		その他（負担金の支出ほか）			50
(2) 事業実績	<p>事業実績は、実契約件数（受注件数）8,205件、事業収入928,107千円です。実契約件数の内訳は、通学案内交通指導、ゆうゆう館協働事業運営等の公共事業138件、民間事業所の事業800件、一般家庭の事業7,211件、パソコン教室等独自事業56件です。</p> <p>地域貢献活動である「シルバー孫の手」では、141件のボランティア活動を実施しました。シルバー人材センターの事業周知支援として、広報すぎなみ、区公式ホームページに事業案内記事を計58回掲載しました。</p>				

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	<p>総人口（区）に占める60歳以上の区民の割合：昭和54年 8.6% ⇒平成28年4月 26.0% シルバー人材センター会員数：昭和54年度 1,280人⇒平成27年度末 2,780人</p>	
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	<p>自転車駐車場やゆうゆう館等の施設利用者を対象に、「公共施設アンケート調査」を昨年と同様に実施し、シルバー人材センターの会員の接客について、概ね良い評価を得ています。清掃、植木剪定、襖・障子の張り替え等の利用者を対象に、利用料の請求書に同封した「お客様満足度調査」でも、良好な評価の回答を多く得ています。</p>	
	今後の予測	<p>会員の高齢化が進み、加齢や病気等の理由による退会が予測できますが、団塊の世代が65歳を超え積極的な広報活動により入会者数は増加していくと思われます。 子育て世代及び高齢者世帯の増加により、家事援助・育児支援等のニーズは引き続き高まると考えられます。</p>	
評価と課題	<p>厳しい経済状況が続き、事業収入、実契約件数とも目標を下回りました。 会員の高齢化が進み、退会者数も年々増加していますが、入会者数が3年ぶりに増加しました。受注の拡大のためには、担い手の増強が不可欠ですので、より効果的な入会促進活動が必要です。 また、東京しごと財団での研修の受講や会員間の情報交換を密にし、既会員も新たな職種に挑戦できるような体制作りを努めます。</p>		

中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I. 事業コストの方向性	現状維持
		II. 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）
	今後の進め方	<p>高齢者が、地域の中で生涯現役でいきいきと活躍できる場づくり、つながりづくりのために貢献するシルバー人材センターを、区は引き続き支援していきます。</p> <p>また、受託件数、事業収入の増加のために、住宅地域であり、子育て世帯も増加しているという杉並区の特性に則したニーズを掘り起こし、家庭・育児サービスの裾野を拡げていくことができるような、PRと周知活動の支援に努めていきます。</p>	

平成28年度 杉並区事務事業評価表（2）

整理番号 150

平成27年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
		杉の樹大学	1	所	3,346
		高齢者の就業・社会参加支援	1	所	2,822
		その他（求人情報検索用パソコン更新費用、選定委員会委員報酬ほか）			164
(2) 事業実績	<p>杉の樹大学事業は、本科32講座（受講生53名）、専科5講座（受講生93名）、健康講座1回5講座（12人）、公開講座2回2講座（延べ272名）を実施しました。</p> <p>高齢者の就業・社会参加支援事業は、個別相談30回（延べ78名）実施、職業能力アップ講座等30回（延べ413名参加）開催しました。</p> <p>社会貢献スタッフの講師活動（主にてぬぐい体操、健康エアロビクス）は、ゆうゆう館の自主グループ・協働事業、まちの湯健康事業等で継続実施しています。</p>				

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	<p>区の高齢化率（65歳以上の総人口に占める割合）は、昭和50年7.4%、平成元年11.4%、平成20年18.7%、平成24年19.8%、平成28年4月21.1%と増加しています。</p> <p>杉の樹大学事業は、昭和59年に開始しました。平成15年からNPO法人に事業委託し、平成24年度からは公募型プロポーザル方式により事業者を選定の上、運営を委託しています。</p>	
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	<p>杉の樹大学は、「新しい仲間と出会えた、充実した一年を過ごすことができた、学びから知り得た知識を地域のボランティア活動に活かしていきたい」など、受講生の評価は好評で、「もう1年通いたい」という要望もあります。</p> <p>社会貢献スタッフの講師活動（主にてぬぐい体操、健康エアロビクス）は、需要も高く、利用者にも好評です。</p>	
	今後の予測	<p>高齢者人口は年々増加することが見込まれます。</p> <p>高齢者等の雇用の安定等に関する法律の改正により、65歳までの雇用環境は確保されましたが、生涯現役で充実して過ごせるよう、様々な社会参加を求める高齢者は、増加すると考えられます。</p>	
評価と課題	<p>高齢者一人ひとりが安心できる地域との繋がりを持つ事業を開催したり、地域に出ていきつかけを提供し、生きがいを見つけ、高めていけるよう支援していきます。</p> <p>高齢者の就業・社会参加支援事業においては、平成26年度から開始した就職面接会で、複数の参加者の就職が決定しています。区内法人会や企業と緊密に連携し、就職面接会を充実させるとともに、職場体験等も実施し、就業を希望する高齢者がひとりでも多く就職できるよう取り組んでいきます。</p>		
中長期な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I. 事業コストの方向性	拡充
		II. 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）
	今後の進め方	<p>杉の樹大学事業は、公募型プロポーザルにより、平成28年度から新受託事業者が選定されました。新しい法人による新鮮な企画内容を期待しています。運営については、区から助言・指導を行います。</p> <p>高齢者の就業、起業、ボランティアなどの様々な社会参加を推進するために、情報提供、個別相談や技術の習得及び職場体験を実施します。</p>	

平成28年度 杉並区事務事業評価表 (1)

(00161)

事務事業名称 高齢者活動支援センター事業運営			款 04	項 01	目 02	事業 032	整理番号 166					
現担当課名 高齢者施策課			係名 施設担当係		連絡先 1153 電話番号		昨年度 168 整理番号					
上位施策No・施策名 13 高齢者の社会参加の支援						予算事業区分	既定事業					
事業開始 昭和58年度												
平成27年度 担当課名 高齢者施策課					事業評価区分		一般					
事務事業の概要	対象		根拠法令等		杉並区高齢者ゲートボール場管理運営要綱 杉並区立高齢者活動支援センター及びゆうゆう館条例							
	○60歳以上の区民で構成される10名以上の団体（ゲートボール場） ○60歳以上の区民及び高齢者活動団体		(1)									
			(2)									
	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか） ○高齢者活動支援センターを運営し、高齢者の生涯現役社会の地域拠点として、健康増進、教養の向上などを図る。 ○スポーツ活動（ゲートボール）を通して高齢者の社会参加の機会を拡充し、元気高齢者の増加を図る。		活動指標		指標名 (1) 高齢者活動支援センター登録団体数 指標説明 指標名 (2) ゲートボール登録団体数							
活動内容（事務事業の内容、やり方、手段） ○高齢者の活動拠点として、高齢者活動支援センターの運営を指定管理者により行う。 ○高齢者の健康増進及び高齢者団体の活動支援のため、高齢者ゲートボール場を管理・運営する。		指標説明		成果指標 指標名 (1) 高齢者活動支援センター利用率 指標説明 講座室等利用回数÷利用可能枠数 指標名 (2) ゲートボール場利用率 指標説明 利用回数÷利用可能枠数								
区分		単位	平成25年度 実績	平成26年度 計画 実績		平成27年度 計画 (目標値) 実績		平成28年度 計画	平成27年度 対計画比 (%)			
指標	活動指標 (1)		1	団体	57	60	75	80	77	80	96.3	
	活動指標 (2)		2	団体	18	18	18	17	16	16	94.1	
	成果指標 (1)		3	%	53.9	60	71.9	75	79.8	80	106.4	
	成果指標 (2)		4	%	48.0	50	47.0	50	52.5	60	105.0	
総事業費・コスト把握	事業費		5	千円	355	455	226	324	289	0	平成27年度 予算執行率 (%) 89.2	
	(内) 投資的経費等		6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項 一般需用費で購入しているゲートボール場のコートの手を平成27年度は1度だけの購入となったため需用費の執行残が3万円弱発生したため執行率が90%を切りました。 平成28年度予算から高齢者活動支援センター事業運営を高齢者活動支援センターの維持管理へ統合するため平成28年度事業費等は未記入となっています。	
	(内) 委託費		7	千円	200	275	192	274	273	0		
	職員数	常勤職員数		8	人	0.27	0.27	0.29	0.27	0.27		0.00
		再任用職員数		9	人	0.05	0.16	0.00	0.00	0.00		0.00
		非常勤職員数		10	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00
	人件費	常勤職員分		11	千円	2,330	2,379	2,555	2,379	2,362		0
		再任用職員分		12	千円	193	648	0	0	0		0
		非常勤職員分		13	千円	0	0	0	0	0		0
	総事業費 (5+11+12+13)		14	千円	2,878	3,482	2,781	2,703	2,651	0		
	単位当たりコスト ((14-6)÷1)		15	円	50,491	58,033	37,080	33,788	34,429	0		
	財源	受益者負担分		16	千円	0	0	0	0	0		0
国からの補助金等		17	千円	0	0	0	0	0	0			
都からの補助金等		18	千円	0	0	0	0	0	0			
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0			
特定財源計 (16+17+18+19)		20	千円	0	0	0	0	0	0			
差引：一般財源 (14-20)		21	千円	2,878	3,482	2,781	2,703	2,651	0			
受益者負担比率 (16÷14)		22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			

平成28年度 杉並区事務事業評価表（2）

整理番号 166

平成27年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
		高齢者ゲートボール場清掃等委託			273
		その他（光熱水費 ほか）			16
(2) 事業実績	便所清掃や樹木剪定等、高齢者ゲートボール場の維持管理を行いました。また、ゲートボール場を利用する団体の抽選会を実施しました。				

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	全国的にゲートボール人口は減少傾向にあり、高齢者ゲートボール場登録団体数は平成12年度の29団体をピークに減少し、平成18年度には17団体となりました。その後、増加に転じ、平成24年度は21団体が登録していましたが、平成25年度18団体、平成26年度17団体、平成27年度16団体とまた減少に転じました。高齢者活動支援センターは昭和58年の開設ですが、隣接する杉並清掃工場の建替工事に伴い、大規模改修工事を実施し、改修後の平成24年5月からは、運営をより効果的、効率的に行い、利用者にとってより一層利用しやすい施設とするため、指定管理者制度を導入しました。また、高齢者活動支援センターには多目的室と講座室が3室ありますが、平成26年度から講座室の1室をシルバー人材センターの分室に活用しています。			
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	高齢者活動支援センターの浴室の清掃時間の導入に対する意見が寄せられました。高齢者ゲートボール場利用団体から施設の蚊対策について、要望が寄せられました。			
	今後の予測	高齢者ゲートボール場登録団体数は、ゲートボール人口の増加要因が当面見当たらないことから、今後もゆるやかな減少傾向は継続すると考えられます。 高齢者活動支援センターの使用状況は、平成28年度に、はつらつルームが保育室に転用されることから、その部屋で活動している団体の活動場所変更に伴い、講座室等の稼働率が上昇すると予測されます。			
評価と課題	指定管理者による運営に変更後、施設の円滑な運営を行うため、地域の代表者などで組織する「地域懇談会」を行い、幅広い世代が利用しやすいよう意見交換を行い、運営を行っています。 多目的室の使用は非常に高い稼働率で推移し、平成27年度には90%を超えています。講座室の稼働状況については、第3講座室がシルバー人材センターの事務室に用途変更になったことも影響し、稼働率は74.0%に達し、多目的室と合わせて平均79.8%と多くの方に利用されています。 高齢者ゲートボール場については、利用団体の自主的な管理の他に、区がどこまで管理の手助けを行い、利用しやすい状態を維持していくのが課題となっています。				
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I. 事業コストの方向性	現状維持		
		II. 事業の改善の方向性	実施主体の見直し		
	今後の進め方	高齢者活動支援センターは、指定管理者による運営に変更になってから5年目となり、安定した運営が行われています。平成28年度は5年の指定管理期間を満了するため、再度公募を実施することから、指定管理者の変更も視野に入れつつ、運営面の改善について、利用者の意見なども取り入れながら行っていくよう、次期指定管理者により事業を継続・発展して行っていきます。 高齢者ゲートボール場については、利用団体での自主的な管理の必要性がある事を認識しつつ、区も手を携えて進めていく必要があります。			

平成28年度 杉並区事務事業評価表（2）

整理番号 167

平成27年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
		ゆうゆう館受付等業務委託（うち協働事業館32館）	32	館	254,477
		協働事業館支援事業（備品・消耗品購入）	32	館	4,451
		ゆうゆう館評価委員会及び選定委員会開催	5	回	182
		その他（ ）			
(2) 事業実績	<p>32館で年間10,345回の協働事業が行われ、延べ11万人を超える参加者がありました。ゆうゆう館を利用した人数も延べ447,040人にも達し、年々利用者が伸びてきています。</p> <p>運営団体については、平成22年度にゆうゆう館協働事業を開始した6団体を対象に評価委員会を2回開催しました。</p> <p>また、平成19年度に協働事業を開始した4館を対象に、協働事業実施団体の募集を行いました。9団体の応募があり、選定委員会を3回開催し、4団体の選定を行いました。</p>				

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	<p>受付等業務委託は、平成18年度の時点では16館（うち協働事業館9館）で行っていましたが、平成23年度から区内32箇所あるゆうゆう館の全てが受付等業務委託館及び協働事業実施館となりました。</p>		
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	<p>館の管理運営については順調に行われており、受託団体の接客姿勢についてもアンケートの意見や、直接、利用者からも満足との評価もいただいています。また、協働事業を幅広く実施し、利用者のニーズに合わせて行うなど、利用者数は増加傾向にあります。ただし、従来からゆうゆう館を利用していた高齢者団体等からは、希望する日時での自主活動がやりづらくなったなどの苦情も寄せられています。</p>		
	今後の予測	<p>区立施設再編整備計画では、ゆうゆう館は多世代が利用できる地域コミュニティ施設への転用・再編整備を進めていくこととなっています。身近な地域で高齢者が気軽に集まることができるゆうゆう館の機能と役割は継承することとなっているため、これまでと同様に地域の高齢者のニーズを把握し事業を企画することや、各ゆうゆう館の特性を活かした事業の企画などを進めていくことが求められます。</p> <p>そのため、ゆうゆう館が継続的に安定して運営できるよう、運営団体の評価及び選定を通して、必要な支援や指導を行うことが区に求められます。</p>		
評価と課題	<p>現在、ゆうゆう館全館において協働事業を行っており、このことが果たす役割の大きさを認識しつつ、地域に根差した施設として高齢者の満足度がさらに上がるよう運営を行うことが課題です。</p> <p>また、区立施設再編整備計画では、平成31年度から地域コミュニティ施設への転用・再編整備を進めていく計画となっており、平成28年度が計画のローリングの年に当たります。継承するゆうゆう館の機能と役割について十分に検討を行い、将来的な施設運営の方法を具体化します。</p>			

中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I. 事業コストの方向性	現状維持
		II. 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）
今後の進め方	<p>ゆうゆう館の機能と役割、多世代が利用する施設とすることのメリット・デメリットなど十分な検討が必要となっています。現在の運営方法の優れている点、果たしている役割の重要性など、施設再編整備計画で計画されている内容の見直しも含め、平成31年度からの地域コミュニティ施設の役割や位置づけを明確にしていきます。</p>		

平成28年度 杉並区事務事業評価表 (1)

(00163)

事務事業名称		三療サービス			款 04	項 01	目 02	事業 034	整理番号	168	
現担当課名		高齢者施策課			係名 いきがい活動支援係			連絡先 電話番号	1165	昨年度 整理番号	170
上位施策No・施策名		13 高齢者の社会参加の支援			予算事業区分			既定事業			
事務事業の概要	事業開始	昭和48年度									
	平成27年度 担当課名	高齢者施策課			事業評価区分			一般			
	対象	60歳以上の区民			根拠 法令 等	(1) (2)		杉並区三療サービス事業実施要綱			
	事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか) ○マッサージを受け、高齢者の身体機能の維持・介護予 防の促進を図り、いきいきと暮らせるようにする。				活動指標	指標名 (1)		三療サービス利用者数			
					指標説明		ゆうゆう館でのサービス利用人数				
					指標名 (2)						
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段) ○ゆうゆう館で行うマッサージ・はり施術を「杉並 区高齢者三療サービス連絡協議会」に委託して実施 する。高齢者活動支援センターでは、指定管理者が 同協議会に再委託して実施する。				指標説明	成果指標		利用率				
					指標名 (1)		利用者数 ÷ (当該年度4月1日付け) 60歳以上の区民				
					指標説明						
					指標名 (2)						
					指標説明						
区分	単位	平成25年度	平成26年度		平成27年度		平成28年度	平成27年度			
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)			
指標	活動指標 (1)	1	人	5,036	5,760	5,039	5,760	5,133	5,760	89.1	
	活動指標 (2)	2									
	成果指標 (1)	3	%	3.5	4.0	3.5	4.0	3.6	4.0	90.0	
	成果指標 (2)	4									
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	12,381	12,848	12,372	12,736	12,274	12,735	平成27年度 予算執行率 (%) 96.4 特記事項	
	(内) 投資的経費等	6	千円	0	0	0	0	0	0		
	(内) 委託費	7	千円	12,053	12,394	11,919	12,368	11,907	12,367		
	職員数	常勤職員数	8	人	0.30	0.30	0.32	0.30	0.30	0.10	
		再任用職員数	9	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		非常勤職員数	10	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.25	0.80	
	人件費	常勤職員分	11	千円	2,589	2,643	2,819	2,643	2,624	875	
		再任用職員分	12	千円	0	0	0	0	0	0	
		非常勤職員分	13	千円	0	0	0	0	734	2,348	
	総事業費 (5+11+12+13)	14	千円	14,970	15,491	15,191	15,379	15,632	15,958		
	単位当たりコスト (14-6)÷1)	15	円	2,973	2,689	3,015	2,670	3,045	2,770		
	財源	受益者負担分	16	千円	0	0	0	0	0	0	
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0	0	
		都からの補助金等	18	千円	6,363	6,383	6,185	6,380	6,368	6,366	
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0		
特定財源計 (16+17+18+19)		20	千円	6,363	6,383	6,185	6,380	6,368	6,366		
差引：一般財源 (14-20)		21	千円	8,607	9,108	9,006	8,999	9,264	9,592		
受益者負担比率 (16÷14)	22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			

平成28年度 杉並区事務事業評価表（2）

整理番号 168

平成27年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
		三療サービス（ゆうゆう館）事業委託	5,133	人	10,488
		役務費（洗濯料、敷布団等乾燥）			1,419
		その他（消耗品購入ほか）			367
(2) 事業実績	<p>ゆうゆう館32館を利用し、月40回、年間480回実施しています。平成27年度の実績5,133人中、女性が3,567人（69.5%）です。はりとマッサージは希望制ですが、4,527人（88.2%）がマッサージを希望しています。</p>				

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	<p>○ゆうゆう館 平成23年度5,067人 平成24年度4,931人 平成25年度5,036人 平成26年度5,039人 平成27年度5,133人とゆるやかな増加に転じています。</p> <p>○高齢者活動支援センター 平成23年度2,349人 平成24年度3,127人 平成25年度3,453人 平成26年度3,531人 平成27年度3,560人と順調に増加しています。</p> <p>※高齢者活動支援センターは平成24年5月以降は指定管理者制度に移行し、事業予算は指定管理料から支出することとなりました。</p>
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	<p>現在、ゆうゆう館では原則として施術は1月当たり1回しか受けられないので、利用できる回数を増やしてほしいとの要望があります。</p> <p>施術者の待遇に関して、苦情が年間数件寄せられます。</p>
	今後の予測	<p>利用者の固定化による利用頻度の偏りが予想されます。</p> <p>また、民間による低廉なマッサージ的サービスを提供する事業者が増加する中、今後、公的なサービスのあり方を見直す可能性があります。</p>
評価と課題	<p>利用者には好評な施術ですが、より多くの方に利用していただき、健康保持・向上への関心を高め介護予防につなげていく視点から、ホームページやゆうゆう館での周知の強化に努めます。</p> <p>施術者には技術力の向上を支援するとともに、接遇力の改善を求めています。</p> <p>また、ゆうゆう館の地域コミュニティ施設への再編により、施術用の部屋の確保が困難になることも予測されるため、事業のあり方について検討を行います。</p>	

中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I. 事業コストの方向性	現状維持
		II. 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）・対象の見直し
	今後の進め方	<p>ホームページの掲載や、館ごとのPRを行っていきます。また、三療サービスの利用者が、健康の保持・向上を意識し関心を高めるよう、介護予防に関する情報を提供し、健康増進を図ります。</p> <p>施術者の技術向上、接遇改善のため、協議会が実施する技術・接客向上の研修会を支援していきます。</p>	

平成28年度 杉並区事務事業評価表 (1)

(00164)

事務事業名称		敬老事業			款	04	項	01	目	02	事業	035	整理番号	169
現担当課名		高齢者施策課			係名	いきがい活動支援係			連絡先 電話番号	1165		昨年度 整理番号	171	
上位施策No・施策名		13 高齢者の社会参加の支援			予算事業区分		既定事業							
事務事業の概要	事業開始	昭和25年度			事業評価区分		一般							
	平成27年度 担当課名 対象	高齢者施策課			活動指標		敬老会参加者数							
	○75歳以上の高齢者 ○75歳、81歳、100歳以上の高齢者			根拠 法令 等	(1)	老人福祉法第4条、5条、第13条第1項								
	事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか) ○敬老事業が対象者の日常生活に、新たな価値や意味を見出すきっかけとなり、健やかに充実した後期高齢期を過ごし、意欲や活力が高められるようにする。			指標説明	(2)	杉並区敬老事業実施要綱								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段) ○高齢者の長寿を祝うため、式典及び演芸会を開催する。 ○対象者に敬老祝い品 (75歳、81歳)、長寿祝い品 (100歳以上) を贈呈 (戸別配送) する。 ○在宅で生活している100歳以上の男女1名ずつには区長が訪問し、直接贈呈を行う。			指標説明	(1)	祝い品贈呈者数 (75歳、81歳、100歳以上)								
			成果指標	(2)	敬老会来場率									
			指標説明	(1)	来場者÷対象者数									
			指標説明	(2)	祝い品交換率									
			指標説明	(2)	交換者÷対象者数									
区分		単位	平成25年度 実績	平成26年度		平成27年度		平成28年度	平成27年度 対計画比 (%)					
				計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画						
指標	活動指標 (1)	1 人	4,192	5,000	3,857	5,000	4,153	5,000	83.1					
	活動指標 (2)	2 人	8,302	8,800	8,212	8,900	8,688	9,290	97.6					
	成果指標 (1)	3 %	7.3	9.0	6.6	8.4	7.0	8.5	83.3					
	成果指標 (2)	4 %	98.6	100	98.6	100	95.6	100	95.6					
総事業費・コスト把握	事業費	5 千円	31,759	35,011	32,009	33,207	32,041	37,475	平成27年度 予算執行率 (%) 特記事項	96.5				
	(内) 投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0						
	(内) 委託費	7 千円	9,264	10,363	10,037	8,465	8,234	10,150						
	職員数	常勤職員数	8 人	2.00	1.90	1.90	1.80	1.85	1.80					
		再任用職員数	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00					
		非常勤職員数	10 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.10					
	人件費	常勤職員分	11 千円	17,260	16,739	16,739	15,858	16,182	15,745					
		再任用職員分	12 千円	0	0	0	0	0	0					
		非常勤職員分	13 千円	0	0	0	0	0	294					
	総事業費 (5+11+12+13)	14 千円	49,019	51,750	48,748	49,065	48,223	53,514						
	単位当たりコスト (14-6)÷1	15 円	11,693	10,350	12,639	9,813	11,612	10,703						
	財源	受益者負担分	16 千円	0	0	0	0	0	0					
		国からの補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0					
		都からの補助金等	18 千円	6,124	6,830	6,353	5,904	5,434	5,904					
その他の補助金等		19 千円	0	0	0	0	0	0						
特定財源計 (16+17+18+19)		20 千円	6,124	6,830	6,353	5,904	5,434	5,904						
差引：一般財源 (14-20)		21 千円	42,895	44,920	42,395	43,161	42,789	47,610						
受益者負担比率 (16÷14)	22 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							

平成28年度 杉並区事務事業評価表（2）

整理番号 169

平成27年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
		敬老会開催	4,153	人	10,870
		敬老祝い品贈呈	8,778	人	21,171
		その他（ ）			
(2) 事業実績	<p>75歳以上の高齢者を対象に、第67回杉並区敬老会を9月3、4日の2日間計6回開催しました。内容は、式典と演芸（歌謡ショー北原ミレイと助六太鼓）を行いました。</p> <p>敬老祝い品は75歳81歳の方にカタログギフトによる祝い品を贈り、100歳以上の方にカタログギフト、肌着セット、音声拡聴器から1点選択していただく形で祝い品を贈りました。さらに、在宅で生活している100歳以上の男女1名ずつを区長が訪問し長寿を祝い、花束の贈呈をしました。</p>				

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	<p>対象である75歳以上人口はこの事業が開始された昭和27年（2,993人）と現在平成28年（59,347人）を比較すると約20倍になり、急速な高齢化の進展をあらためて裏付けるものとなっています。また、高齢者の嗜好も時代とともに変化してきています。</p>	
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	<p>杉並区敬老会は、かつては演歌歌手のショーを中心に開催してきたところですが、ここ数年、参加者からはクラシック、ポップス、演芸など多様なジャンルへの要望も寄せられるようになったため、幅広い嗜好に対応していく予定です。</p> <p>敬老祝い品のカタログギフトは、個人の嗜好に合わせて商品を選択できるので、対象者になるのを楽しみにしているという声が多くあります。少数ですが、祝い品は必要ないという意見や区内共通商品券、現金、寄付を希望する声もあります。</p>	
	今後の予測	<p>75歳以上の対象者は年々増加する一方で、今までの敬老事業、特に敬老会のあり方について見直しをしていく必要が出てくると予測されます。</p> <p>敬老会については、平成27年度、参加希望者が6回のうちのいずれかに参加できましたが、今後対象者が年々増加していくため、参加を希望していても抽選にもれてしまうケースがでてくると思われます。</p>	
評価と課題	<p>敬老会は平成28年度で67回目となり、平成15年度から歌謡ショーを続けてきましたが、平成25年度26年度と違うジャンルの内容を試み、好評を得ています。敬老会では、趣味の多様化により、事業の内容について、日頃からの高齢者の意見を参考に、幅広いジャンルから選択していくことが望ましい状況にあります。</p> <p>敬老祝い品（75歳・81歳）の内容については、交換率もよく好評です。区民の方からの意見を反映し、カタログ選定の際には、寄付商品が掲載されているものを指定しています。100歳以上の祝い品に関しては、毎年お祝いしてもらえることに、感謝の言葉が多く寄せられています。</p>		
中長期な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I. 事業コストの方向性	現状維持
		II. 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）
今後の進め方	<p>平成28年度は日本フィルハーモニー交響楽団に依頼するなど、幅広い高齢者の嗜好に対応します。対象が高齢者のため、当日の体調不良、転倒等アクシデントが起きることがあり、参加される高齢者はもとより障害のある方々も安心して敬老会に参加できるよう、安全面での特段の配慮が必要です。</p> <p>高齢者人口のさらなる増加を見越し、敬老事業全体の見直しも視野に入れながら、従来通りの事業形態ではない選択肢についても検討していく必要があります。</p>		

平成28年度 杉並区事務事業評価表 (1)

(00165)

事務事業名称 長寿応援ポイント事業			款 04	項 01	目 02	事業 036	整理番号 170		
現担当課名 高齢者施策課			係名 長寿応援ポイント担当係			連絡先 電話番号 1166	昨年度 整理番号 172		
上位施策No・施策名 13 高齢者の社会参加の支援						予算事業区分 既定事業			
事業開始 平成21年度		実行計画事業 目標 04 施策 13 計画事業 02			主要事業 (区政経営報告書掲載事業)				
平成27年度 担当課名 高齢者施策課					事業評価区分 一般				
事務事業の概要	対象 地域貢献活動、健康増進活動等は60歳以上の区民 いきがい活動は、75歳以上の区民		根拠法令等 (1) (2)		杉並区長寿応援ポイント事業実施要綱 杉並区長寿応援ポイント事業運営懇談会開催要綱				
	事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか) ○高齢者の外出を促し、高齢者自身の健康増進やいきがいの向上を図る。さらにその活動が社会参加につながり、地域包括ケアの取組の中で、お互いや地域の人々の「支えあい」が進展することを目指す。		活動指標 指標名 (1) 指標説明 指標名 (2)		活動登録グループ件数 (累計) ポイント交換者数				
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段) ○区が認定した「地域貢献活動」等へ高齢者が参加したときポイントを配布する。ためたポイントは、地域貢献活動団体の助成を行うため設置した長寿応援ファンドへの寄付および区内共通商品券の交換に充てる。 ○円滑な事業運営を図るため、長寿応援ポイント事業運営懇談会を設置する。 ○業務は民間事業者への委託により行う。		成果指標 指標名 (1) 指標説明 指標名 (2)		週2回以上外出している高齢者の割合 区民意向調査による				
			指標説明						
区分		単位	平成25年度 実績	平成26年度 計画 実績		平成27年度 計画 (目標値) 実績		平成28年度 計画	平成27年度 対計画比 (%)
指標	活動指標 (1)	1 件	1,267	1,370	1,327	1,470	1,411	1,570	96.0
	活動指標 (2)	2 人	6,241	6,500	6,977	7,500	7,206	8,500	96.1
	成果指標 (1)	3 %	89.2	90	90.2	90	89.8	90	99.8
	成果指標 (2)	4							
総事業費・コスト把握	事業費	5 千円	78,438	81,584	78,940	84,475	84,352	90,278	平成27年度 予算執行率 (%) 99.9 特記事項
	(内) 投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	
	(内) 委託費	7 千円	31,840	34,866	34,843	35,043	35,043	37,230	
	職員数	常勤職員数	8 人	2.10	2.00	1.90	1.40	1.50	1.50
		再任用職員数	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		非常勤職員数	10 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	人件費	常勤職員分	11 千円	18,123	17,620	16,739	12,334	13,121	13,121
		再任用職員分	12 千円	0	0	0	0	0	0
		非常勤職員分	13 千円	0	0	0	0	0	0
	総事業費 (5+11+12+13)	14 千円	96,561	99,204	95,679	96,809	97,473	103,399	
	単位当たりコスト ((14-6)÷1)	15 円	76,212	72,412	72,102	65,856	69,081	65,859	
	財源	受益者負担分	16 千円	0	0	0	0	0	0
		国からの補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0
		都からの補助金等	18 千円	17,464	19,404	19,337	19,316	19,460	19,316
その他の補助金等		19 千円	0	0	0	0	0	0	
特定財源計 (16+17+18+19)		20 千円	17,464	19,404	19,337	19,316	19,460	19,316	
差引：一般財源 (14-20)	21 千円	79,097	79,800	76,342	77,493	78,013	84,083		
受益者負担比率 (16÷14)	22 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

平成28年度 杉並区事務事業評価表（2）

整理番号 170

平成27年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
		長寿応援ポイント事業業務委託			35,021
		長寿応援ポイント事業運営懇談会等	19	回	630
		普及啓発（事業紹介冊子、ポイントシール印刷ほか）			1,601
		その他（商品券の購入ほか）			47,100
	(2) 事業実績	<p>平成27年度末の登録活動件数は1,411件で、平成26年度末の1,327件から6.3%の増加となりました。</p> <p>平成27年度は事業紹介冊子を作成して各ゆうゆう館や保健センターに配布し、様々な活動の紹介と事業の周知を行いました。また、区役所1階ロビーで事業紹介展示を行いました。</p> <p>長寿応援ファンドを活用し、地域の高齢者や次世代の活動を支援する7活動（平成26年度は8活動）に助成を行いました。</p>			

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	<p>事業開始年度である平成21年10月の区内65歳以上人口は103,024人でしたが、平成28年4月現在では117,161人まで増加しています。</p> <p>平成27年度区民意向調査によれば、65歳以上でボランティア活動を行っている高齢者は13.5%、趣味のサークルやクラブ活動、社会貢献活動を行っている高齢者は、調査回答者の65.0%となっていて、両数値とも前年度同調査に比べ増加しています。生活に生きがいを感じている高齢者は84.0%です。</p>	
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	<p>ポイントが配られることで「参加意欲が向上する」「新しい方も参加するようになった」「友人が増えた」など、大変好評です。ポイント交換で得た商品券は日々の買い物や健康・娯楽など様々な目的で活用されています。また、寄付をしていただいた方からは「社会の役に立てることがうれしい」との声があります。一方、ポイント交換の仕組みの見直しについて要望をいただいています。</p> <p>長寿応援ファンド助成を受けた活動団体からは、助成を受けたことにより「地域で様々な環境にある住民同士のつながりが強化できた」「活動を広げることで、若者が自分を見つめる良い機会となった」等の実施結果が報告されました。</p>	
	今後の予測	<p>杉並区の高齢化率は21%程度で推移していくことが予測されています。</p> <p>高齢者が地域に出て自らの知識や経験を活かし、地域貢献活動などを行いながら、地域社会の様々な世代の人達と支えあい、いきいきと生活している社会を目指して事業を進めていきます。</p>	
評価と課題	<p>長寿応援ポイント事業活動登録団体数は、平成21年度の事業開始以来増加を続けており、多様な地域活動が行われています。</p> <p>ポイント交換の仕組みに対する意見要望を参考に、システム改修を始めとして、必要な見直しを行います。</p> <p>地域包括ケアの取組の中で、高齢者自身も支え手となり、お互い支えあっていけるよう事業を充実させていきます。</p>		
中長期な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I. 事業コストの方向性	現状維持
		II. 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）
	今後の進め方	<p>地域包括ケアシステムの構築に向け、お互いが支えあう地域づくりを進めるため、より多くの高齢者の方に参加してもらえるよう事業の周知、仕組みの見直しを進めていきます。</p>	

平成28年度 杉並区事務事業評価表 (1)

(00225)

事務事業名称 高齢者活動支援センターの維持管理			款 04	項 01	目 06	事業 012	整理番号 233		
現担当課名 高齢者施策課			係名 施設担当係			連絡先 電話番号 1153	昨年度 整理番号 232		
上位施策No・施策名 13 高齢者の社会参加の支援						予算事業区分	既定事業		
事業開始 昭和58年度									
平成27年度 担当課名 高齢者施策課					事業評価区分 施設維持管理				
事務事業の概要	対象 60歳以上の区民及び高齢者活動団体		根拠法令等 (1) (2)		老人福祉法第4条、第5条の3、第15条、第20条の7 杉並区立高齢者活動支援センター及びゆうゆう館条例				
	事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか) ○多くの高齢者の施設利用によって、相互の交流を活発にし、社会参加の機会拡充を図る。 ○高齢者の自主的団体活動に対する支援によって、新たな生きがいづくりや仲間づくりを促進し、元気高齢者の増加に寄与する。		活動指標 指標名 (1) 指標説明 指標名 (2)		団体利用回数				
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段) ○60歳以上の区民の福祉増進を図るため、各種相談や健康増進、教養の向上及びレクリエーション活動の支援を目的に設置した高齢者活動支援センターの施設維持管理を行う。		指標説明 成果指標 指標名 (1) 指標説明 指標名 (2) 指標説明						
区分		単位	平成25年度 実績	平成26年度 計画 実績		平成27年度 計画 (目標値) 実績		平成28年度 計画	平成27年度 対計画比 (%)
指標	活動指標 (1)	1 回	2,195	2,200	2,206	2,200	2,403	2,500	109.2
	活動指標 (2)	2							
	成果指標 (1)	3							
	成果指標 (2)	4							
総事業費・コスト把握	事業費	5 千円	69,405	71,614	70,762	71,361	71,357	70,967	平成27年度 予算執行率 (%) 100.0 特記事項
	(内) 投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	
	(内) 委託費	7 千円	69,048	71,227	70,384	71,225	71,224	70,781	
	職員数	常勤職員数	8 人	0.36	0.41	0.43	0.41	0.41	0.40
		再任用職員数	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		非常勤職員数	10 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	人件費	常勤職員分	11 千円	3,107	3,612	3,788	3,612	3,586	3,499
		再任用職員分	12 千円	0	0	0	0	0	0
		非常勤職員分	13 千円	0	0	0	0	0	0
	総事業費 (5+11+12+13)	14 千円	72,512	75,226	74,550	74,973	74,943	74,466	
	単位当たりコスト ((14-6)÷1)	15 円	33,035	34,194	33,794	34,079	31,187	29,786	
	財源	受益者負担分	16 千円	0	0	0	0	0	0
		国からの補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0
		都からの補助金等	18 千円	0	0	0	0	0	0
その他の補助金等		19 千円	0	0	0	0	0	0	
特定財源計 (16+17+18+19)		20 千円	0	0	0	0	0	0	
差引：一般財源 (14-20)		21 千円	72,512	75,226	74,550	74,973	74,943	74,466	
受益者負担比率 (16÷14)	22 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

平成28年度 杉並区事務事業評価表（2）

整理番号 233

平成27年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
		運営管理（指定管理者）			70,613
		建物管理委託			612
		物品リース			55
		その他（製版印刷機消耗品の購入ほか）			77
	(2) 事業実績	電位治療器のリース及び保守管理を行いました。製版印刷機に係る消耗品を購入しました。			

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	
	今後の予測	

評価と課題	<p>指定管理者による管理に変更になってから4年が経過しました。区と指定管理者との役割分担も行われており、大きな問題もなく運営できています。平成28年度は指定管理期間が満了するため、次期指定管理者の公募を実施します。今までの区と指定管理者の連携を継続し、高齢者が安全に活動できるよう運営を行います。</p> <p>また、高齢者のみではなく幅広い年齢層が利用・交流できる、にぎわいと活気ある施設とすることが課題です。</p>
-------	---

中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I. 事業コストの方向性	
		II. 事業の改善の方向性	
	今後の進め方		

平成28年度 杉並区事務事業評価表 (1)

(00226)

事務事業名称			ゆうゆう館の維持管理			款	04	項	01	目	06	事業	013	整理番号	234	
現担当課名			高齢者施策課			係名			施設担当係			連絡先 電話番号	1153	昨年度 整理番号	233	
上位施策No・施策名											13 高齢者の社会参加の支援		予算事業区分	既定事業		
事務事業の概要	事業開始		昭和38年度													
	平成27年度 担当課名		高齢者施策課									事業評価区分	施設維持管理			
	対象					根拠 法令 等		(1)		杉並区立高齢者活動支援センター及びゆうゆう館条例						
								(2)		老人福祉法第4条						
	事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか) ○元気な高齢者の声が響き渡る地域社会が形成できるよう、生涯現役社会の地域拠点として、ゆうゆう館が高齢者のみならず地域住民の「いきがい学び」「ふれあい交流」「健康づくり」「憩い」の場として幅広く活用されるようにする。					活動指標		指標名 (1)		年間延べ利用者数						
					指標説明											
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段) ○利用者がゆうゆう館32館を安全かつ快適に利用できるように維持管理を行う。					指標名 (2)		利用団体数 (高齢者活動登録団体)									
					指標説明											
					成果指標		指標名 (1)									
					指標説明											
					指標名 (2)											
					指標説明											
区分		単位	平成25年度 実績	平成26年度		平成27年度		平成28年度	平成27年度							
				計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)							
指標	活動指標 (1)	1 人	459,227	460,000	429,061	410,000	447,040	460,000	109.0							
	活動指標 (2)	2 団体	1,020	1,050	1,020	1,050	1,087	1,150	103.5							
	成果指標 (1)	3														
	成果指標 (2)	4														
総事業費・コスト把握	事業費	5 千円	67,866	69,681	67,751	75,029	69,990	74,342	平成27年度 予算執行率 (%)	93.3				特記事項		
	(内) 投資的経費等	6 千円	347	0	0	0	0	0								
	(内) 委託費	7 千円	21,324	23,110	21,856	27,361	24,955	26,620								
	職員数	常勤職員数	8 人	1.57	1.45	1.54	1.36	1.36	1.20							
		再任用職員数	9 人	0.08	0.25	0.22	0.30	0.00	0.00							
		非常勤職員数	10 人	0.00	0.20	0.20	0.20	0.15	0.20							
	人件費	常勤職員分	11 千円	13,549	12,775	13,567	11,982	11,896	10,496							
		再任用職員分	12 千円	309	1,013	891	1,215	0	0							
		非常勤職員分	13 千円	0	566	566	566	440	587							
	総事業費 (5+11+12+13)	14 千円	81,724	84,035	82,775	88,792	82,326	85,425								
	単位当たりコスト ((14-6)÷1)	15 円	177	183	193	217	184	186								
	財源	受益者負担分	16 千円	0	0	0	0	0	0							
		国からの補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0							
		都からの補助金等	18 千円	0	0	0	0	0	0							
その他の補助金等		19 千円	0	0	0	0	0	0								
特定財源計 (16+17+18+19)		20 千円	0	0	0	0	0	0								
差引：一般財源 (14-20)		21 千円	81,724	84,035	82,775	88,792	82,326	85,425								
受益者負担比率 (16÷14)	22 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0								

平成28年度 杉並区事務事業評価表（2）

整理番号 234

平成27年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
		光熱水費	32	館	32,228
		施設保守管理委託	32	館	21,900
		消耗品購入、修繕、家屋等修繕	32	館	10,705
		物品・機器リース	32	館	1,788
		その他（電話料金、備品購入、負担金の支出ほか）			
(2) 事業実績	ゆうゆう館の利用者が、安全かつ快適に施設の利用ができるように、施設修繕、施設保守管理委託などを行うとともに、備品・消耗品などを購入しました。				

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	
	今後の予測	

評価と課題	ゆうゆう館の施設・設備の維持管理を行うことで、安全かつ快適な施設の利用について貢献できました。築40年以上のゆうゆう館が半数を占め、老朽化に伴い必要な修繕が増えてくるため、今後も優先して行うべき、建物並びに設備の小修繕を精査しながら、安全で利用しやすい環境を維持することが課題です。 また、区立施設再編整備計画の進行状況も確認しながら、建て替え予定と重複しないよう修繕や物品購入などを実施します。
-------	---

中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I. 事業コストの方向性	
		II. 事業の改善の方向性	
	今後の進め方		

平成28年度 杉並区事務事業評価表 (1)

(00684)

事務事業名称			ゆうゆう馬橋館の整備			款	04	項	01	目	07	事業	029	整理番号	243	
現担当課名			高齢者施策課			係名	いきがい活動支援係			施設担当	連絡先 電話番号			1153	昨年度 整理番号	
上位施策No・施策名											13 高齢者の社会参加の支援		予算事業区分	投資事業		
事務事業の概要	事業開始	平成28年度														
	平成27年度 担当課名	高齢者施策課									事業評価区分	一般				
	対象	60歳以上の区民、高齢者団体、協働事業参加者			根拠 法令 等	(1)	杉並区立高齢者活動支援センター及びゆうゆう館条例			(2)	老人福祉法					
	事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	○老朽化したゆうゆう馬橋館の移転先として、旧高円寺保健センター分室を解体し、利用者が快適に利用できる新施設を建設する。			活動指標	指標名 (1)	新築工事の進行状況			指標説明						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	○平成27年度に基本設計・実施設計を行う。 ○平成27年度に旧高円寺保健センター分室を解体工事を行う。 ○平成28年7月～平成29年7月まで建設工事を行う。 ○地域住民及び利用者との意見交換に努める。			指標名 (2)	旧高円寺保健センター分室の解体工事の進行状況			指標説明							
区分		単位	平成25年度 実績	平成26年度		平成27年度		平成28年度	平成27年度							
			実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比(%)							
指標	活動指標 (1)	1	%			50	50	50	100.0							
	活動指標 (2)	2	%			100	100	0	100.0							
	成果指標 (1)	3														
	成果指標 (2)	4														
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円			32,310	29,230	91,149	平成27年度 予算執行率(%)	90.5						
	(内) 投資的経費等	6	千円					0	特記事項							
	(内) 委託費	7	千円			32,220	29,162	89,611								
	職員数	常勤職員数	8	人			0.45	0.45	0.32							
		再任用職員数	9	人					0.00							
		非常勤職員数	10	人					0.00							
	人件費	常勤職員分	11	千円			3,965	3,936	2,799							
		再任用職員分	12	千円					0							
		非常勤職員分	13	千円					0							
	総事業費 (5+11+12+13)	14	千円			36,275	33,166	93,948								
	単位当たりコスト ((14-6)÷1)	15	円			725,500	663,320	1,878,960								
	財源	受益者負担分	16	千円					0							
		国からの補助金等	17	千円					0							
		都からの補助金等	18	千円					0							
その他の補助金等		19	千円					0								
特定財源計 (16+17+18+19)		20	千円					0								
差引：一般財源 (14-20)		21	千円			36,275	33,166	93,948								
受益者負担比率 (16÷14)	22	%					0.0									

平成28年度 杉並区事務事業評価表（2）

整理番号 243

平成27年度の事業実施状況	内容	規模	単位	事業費（千円）
(1) 主な取組	基本・実施設計			15,427
	解体工事			9,660
	調査及び測量			3,926
	機械警備等			149
	その他（光熱水費）			68
(2) 事業実績	併設する馬橋保育園の定員を拡充するため、現在地から移転し、平成29年9月の開設を予定しています。平成27年度は、新施設の基本設計・実施設計等を行い、平成28年1月～3月で、新施設建設場所である旧高円寺保健センター分室の解体工事を行いました。			

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	区立施設再編整備計画第一次実施プランで、併設する馬橋保育園の定員を拡充するため、現在地から移転することとなりました。その後、移転先が旧高円寺保健センター分室の場所に正式に決定し、地域住民や利用者向けに説明会を実施し、そのときに挙げた意見・要望を取り入れながら、基本設計・実施設計を行ってきました。	
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	平成27年5月に実施した、ゆうゆう馬橋館移転に関する住民説明会の中で、下記のような意見が寄せられました。①ゆうゆう馬橋館の休館期間が長すぎる。②地域でも利用できる大きめの集会室を設計に入れてもらいたい。③地域の人たちも利用できる施設にしてもらいたい。	
	今後の予測	平成28年度については、7月から新施設建設工事を着工することに伴い、近隣住民の方たちに出る限り迷惑がかからないように、配慮しながら工事を進める必要があります。また、ゆうゆう馬橋館の休館期間に利用者が活動できる場を提供するため、現施設に隣接する旧拓殖大学高円寺留学生寮の一部の改修を行います。併せて、平成29年9月開設を目指し、新施設の運営方法や物品等の購入を検討していきます。	
評価と課題	ゆうゆう馬橋館の休館期間に、利用者が活動できる場を確保したことについては、利用者から満足の声が上がっています。引き続き活動ができることによって、高齢者の健康維持の活動を継続でき、ゆうゆう馬橋館の利用者の減少を少しでも抑えることができると考えられます。 課題としては、今後地域コミュニティ施設に移行していくことから、モデル的な取組を検討していく必要があります。また、地域課の施設と防災倉庫との併設施設となるため、運営方法などを関係各課と検討・調整をする必要があります。		
中長期な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I. 事業コストの方向性	現状維持
		II. 事業の改善の方向性	対象外
	今後の進め方	○7月から開始予定の建設工事に伴い、6月に地域住民及び利用者向けに説明会を行っていきます。 ○平成29年9月開設に向けて、関係各課（地域課、防災課）などと管理・運営方法について、検討・調整をしていきます。 ○新施設に設置する物品等の検討をしていきます。	